

第1号議案 令和6年度事業報告及び令和6年度正味財産増減計算書・貸借対照表・財産目録・財務諸表に対する注記 承認の件

令和6年度 事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

【概 況】

令和6年度の世界情勢は、ウクライナ戦争においてロシア・ウクライナ共にトランプ氏によって終戦が図られることを見据えた動きが見られ、中東情勢においては、イスラエル寄りのトランプ氏が勝利したことで、イスラエルがさらに強硬姿勢になることが懸念された。これらトランプ氏の予測不能な政策に対して、先行きが見通し難い状況にあった。

他方、日本経済は、一時停滞感を強めたものの回復基調を維持し、日経平均株価は史上最高値を更新するなど、公示地価上昇率や春闘賃上げ率はバブル期以来の伸びを記録し、インフレ経済への回帰が見られた。このインフレ回帰により物価高騰の波が押し寄せ、私たち国民にとっては大きな経済負担となっている。さらに、これらの影響から、企業は賃上げ対応に迫られ、厳しい経営を余儀なくされている。

このような中であっても、私たち法人会は、本来の目的である「税のオピニオンリーダー」として、税の正しい知識の普及、次世代経営者への租税教育、地域社会に根差した社会貢献活動を会員が一丸となって実施してきた。

実施事業の中で特に充実した事業は「租税教育活動」であり、菊池税務署管内の小学校 31 校中 21 校で租税教室を実施し、述べ 1,482 人の児童に対して「税の大切さ」や「税の仕組み」の学びに貢献することが出来た。実施にあたっては、青年部会を主としつつ、菊池法人会の強みである「女性部会」、「親会」の支援と連携により短期間で充実した活動が計画通りに実施出来た。更に、令和6年度は中学校への取り組みを試み、グループワークを取り入れた「自分たちで考える租税教室」を実施した。また、税に関する絵はがきコンクールについては、税務署や行政が租税教室を行う小学校まで応募を呼びかけ、税に関する絵はがきの取り組み拡大、ステータス向上に繋げることが出来た。

その他、委員会の連携（組織・厚生）（事業研修・広報）により事業の充実が図れ、取り分け、特別講演会では 600 名を超える応募があり、法人会の認知度向上および期待感醸成に繋げることが出来た。また、各支部事業も積極的な活動を展開したことで組織の活性化に繋がっている。

なお、当初計画していた事業「清掃活動、チャリティゴルフ、花苗寄付事業、お手玉 Xmas リース寄付事業、献血事業（2回）、各種研修会」など計画どおり実施した。

【事業報告】

● 組織基盤の充実

令和6年度（1月～12月）の会員増強結果は、純増8社（入会27社、退会19社）であった。退会は昨年の14社より5社増えて19社、退会19社のうち半数以上が廃業や解散、合併等による不可抗力である。また、会費未納による退会もあり、これは毎年発生する見込みである。各支部における慰留活動もあり一定の効果はみれるものの、全てを網羅できる状況には無い。

入会は27社のうち受託保険会社紹介が半数を大幅に上回る22社であり、依然として受託保険会社の協力が大きい。とは言いつつも、このうち役員が受託会社へ紹介した例もあり、数値で表れている結果のみではない。しかし、役員の勧誘活動においては、役員一人1社のアプローチを掲げて取り組んでいるものの結果に結びついている事例は極めて少ない。

令和4年	12月末会員数	809社	加入率	32.3%	（対象法人数2,506社）
令和5年	12月末会員数	814社	加入率	31.1%	（対象法人数2,615社）
令和6年	12月末会員数	822社	加入率	30.3%	（対象法人数2,713社）

注）上記数字は正会員（法人会員）のみ

※支部別会員数

（令和6年12月末現在）

支部	菊池支部	大津支部	菊陽支部	合志支部	計
法人数	871社	596社	537社	709社	2713社
会員数	289社	163社	184社	186社	822社
加入率%	33.2%	27.3%	34.3%	26.2%	30.3%

(1) 税知識の普及を目的とする事業（公益事業1）

① 新設法人説明会（実施）

前年度（令和6年度）に菊池法人会管内で新設された法人を対象に菊池税務署、菊池法人会連名で案内を行い、菊池税務署統括国税調査官を講師として法人税の留意事項等の説明会を実施した。（21社27名参加）

② 税の啓発及び広報活動（実施）

大津町「からいもフェスティバル」に参画し、「税金〇×クイズ」「税金的当てゲーム」「税に関するチラシ配布」等の啓発活動を実施した。税金〇×クイズでは、地域に根差した問題を準備するなど関心を持って頂ける取り組みを工夫した。

③ 租税教室（実施）

小学校の租税教室については、菊池市7校（隈府小、菊池北小、戸崎小、菊之池小、花房小、泗水東小、旭志小）、菊陽町3校（菊陽中部小、武蔵ヶ丘小、菊陽北小）、大津町5校（室小、美咲野小、大津南小、大津東小、護川小）、合志市6校（西合志中央小、西合志第一小、西合志東小、合志南小、合志楓の森小、南ヶ丘小）、計21校1,482人の児童に対して延べ31回の授業を実施した。講師は延べ「青年部会20名」、「女性部会8名」、「親会3名」が担当した。

また、令和6年度より中学校への租税教室にチャレンジし、租税教育強化指定校である七城中

学校にて生徒が考える租税教室を実施した。90分の授業の中にグループワークを取り入れ、学ぶ×考える租税教室を開催し、歳出入の疑似体験をすると共に答え合わせを行わない教室を実施した。この取り組みにより教える側である青年部会員の知識向上にも繋がったものとする。

④ 青年・女性部会合同税務研修会（実施）

12月に平田菊池税務署長の講話を依頼し、「税のあれこれ」と題して、講話を頂き、質疑応答などを含め両部会にとって貴重な情報を頂いた。

⑤ 広報誌の設置拡大（実施）

令和6年度の発行分の広報誌「もやい No56～No57」を4市町の金融機関全店に設置し、持ち帰り可能な状態で一般の方々に情報提供を行った。一部行政施設（大津町役場）にも設置し、税に関する各種情報ならびに法人会の活動の周知を行った。

(2) 納税意識の高揚を目的とする事業（公益事業1）

① 税に関する絵はがきコンクール（実施）

租税教室で学んだ児童に対して、復習の位置付けを明確化させ「税に関する絵はがき」を描いてコンクールに応募した。945作品が集まり、1作品を菊池税務署長賞、その他、菊池法人会長賞（1）、各支部長賞（4）、青年部会長賞（1）を新たに設け、菊池法人会女性部会長賞（うち県連賞8作品は重複）139作品を表彰した。

② 税の作品展示・表彰（実施）

税務協力団体長連絡協議会のメンバーとして参加し、優れた作品を「菊池法人会長賞」として表彰した。更に、税に関する絵はがきに関して、税務署長賞をはじめ、菊池法人会長賞や各支部長賞青年部会長賞を含めて優秀な作品を選考し、140作品を各市町の指定場所において税を考える週間に展示した。多くの市民に対して納税意識の高揚や税の重要性について周知できたものとする。

③ 地域イベント税金クイズ（実施）

11月に開催される大津町「からいもフェスティバル」に参加し、法人会ブースを設け「税金クイズ」「税金的当てゲーム」「資料配布」を実施し、税の正しい知識の啓発を行った。

(3) 税制及び税務に関する提言に関する事業（公益事業1）

① 税制改正要望（実施）

当会の税制委員会で令和7年度の税制改正に関する要望事項を検討し、県連を通して全法連へ提出した。全法連で集約された要望事項は、全国大会（税制改正要望大会）で決議された後、国、県、市町村等へ要望書として提出された。当会も11月に菊池市長、菊池市市議会議長、国会議員へ要望書を提出した。

② 全国青年の集い（実施）

11月の青年の集い福井大会は予定どおりに実施され、当会から4名が参加した。

③ 全国女性フォーラム（実施）

4月の全国女性フォーラム広島大会は予定どおり実施され、当会から2名が参加した。

(4) 地域社会への貢献を目的とする事業（公益事業2）

① 献血事業（実施）

11月と3月の2回旭志道の駅（旭志村ふれあいセンター）で開催し、延べ136名の方々にご協力頂き、延べ118名の献血を提供出来た。

② 寄付事業（実施&未実施）

手作りのお手玉200個、手作りのクリスマスリース12台を合志市の「合志市こひつじ保育園」へ寄付した。また、会員から提供頂くこととしていた物品については、提供できる数量に届かず、次年度へ移行した。

③ 河川等清掃事業（実施）

これまで実施してきた菊池川河川清掃活動（クリーンリバー）は、児童養護施設である「熊本天使園」の児童及び生徒（未就学児～高校生）42名と一緒に、周辺地域のゴミ拾いを行い、ゴミを拾うことで捨てない心を育むことが出来た。その後、熊本北合志警察署に協力を求め、交通安全講習や自転車の乗り方実演、パトカーや白バイの乗車体験等様々な経験を提供出来た。

他方、菊陽支部が実施している「杉並木クリーン作戦」は夏祭り催事の翌日に開催するなど、効果的な事業を実施している。（早朝7時より1時間程度の清掃活動）

④ 地域環境整備事業（実施）

当法人会管内（菊池市、合志市、大津町、菊陽町）の小学校（31校）へ、4,340鉢の花苗（パンジー・さくら草）を青年部会員が各小学校へ配布した。各小学校では、租税教室を受けた6年生が卒業式まで大切に育てており、非常に喜ばれている。

(5) 会員の支援に資するための事業

① 公開講演会（実施）

5月の総会後にAIG損害保険(株)熊本支店と共催にて特定社会保険労務士の恵島美王子氏を招き「すぐに役立つ雇用トラブル対策のポイント」をテーマに講演会を開催した。本講演会は起こりうる雇用トラブルの具体的な対応について事例を交えてご講演頂き、会員企業の担当者などの講演会のみのお出席も見られた。

また、3月に大津支部にて熊本県立大学理事長（黒田忠広氏）を招き、「半導体とTSMCについて」をテーマに講演会を開催した。本講演会は地域にとって関心度の高いテーマであったことから、一般の来場者を含めて多くの参加者があった。高校生の参加もあり充実した講演会であった。

② 研修会（実施）

8月に菊池支部、菊陽支部、9月に大津支部にて事業報告会と併せて研修会を開催した。菊池支部、菊陽支部では、令和7年度の税制改正について、菊池税務署高風聞統括国税調査官より説明がなされ、大津支部では、「熊本経済と半導体関連企業集積」についての研修を実施した。

その他、菊池支部においては「石橋文化センター」、菊陽支部では「東海大学あそ臨空キャンパス」、大津支部では「NRS(株)&東海大学あそ臨空キャンパス」を視察し、会員企業が自社に取り入れられる情報を収集した。女性部会は「フードバル熊本」を視察し、4社の工場等を見学し学びを深めた。

③ チャリティゴルフ大会（実施）

9月に菊池カントリークラブにて66名が参加しチャリティゴルフを実施した。チャリティ益金は菊陽支部が担当となって菊陽町の①「(株)そらひろ本社：うみのいえ 児童発達支援、そらのいえ 放課後等デイサービス」、②「(有)エンゼル：さんさん保育園 0歳児からの企業主導型施設、ネイチャーファクトリー就労継続支援B型事業所」に希望の物品を購入し3月に寄付した。

また、青年部会もチャリティゴルフを開催し、その益金19,000円分の「めぐるん券」を「ひのくにスマイル食堂」に寄付した。

(6) 会員の福利厚生等に関する事業

① 福利厚生における会員支援（実施）

大同生命保険(株)、AIG損害保険(株)、アフラック生命保険(株)の3社と福利厚生制度の推進に係るすり合わせを実施し、会員企業の備えに対しての支援を行った。

また、会報誌「もやい」により「会員が知って得する保険情報」を継続して掲載した。更に、情報誌等会員向け案内や郵送時にチラシを同封するなど情報提供を行った。

※各研修会の場に受託会社を案内し、説明やチラシ配布等会員に有用な情報提供に努めた。